

令和8年度事業計画

I 公益目的事業 1 (大学の教育研究に対する助成事業)

1 教育研究に対する助成 (36,000 千円)

(1) 調査研究助成 (30,000 千円)

新しい研究分野・研究領域の開拓をより活性化させるため、先端的研究拠点の形成・構築実現に向けた専門性の高い研究(3,000 千円)と、講師・助教等を中核とする若手研究者の分野を超えた研究者グループによる共創的研究に対する助成(4,000 千円)に加え、学内合同企業インターンシップ説明会などの様々な就職支援行事に助成し博士人材の産業界における活躍促進をはじめとする学生のキャリア形成を効果的に支援する。
(7,000 千円)

① また、来年度、新規に4月入学の博士前期課程合格者を対象として、積極的により多くの日本人学生を獲得・入学させた教員に対し研究室の教育環境活動経費を助成し、一層の研究力の強化を図る (10,000 千円)。

② 加えて、将来的な大学志願者の増加、社会的な信頼の獲得、地域との連携深化に資することを目指して、新しく大学の紹介動画を2本制作し様々な場面で大学の魅力を多角的に発信する。 (6,000 千円)

(2) 学生研究奨励金 (6,000 千円)

博士後期課程の学生のうち、優れた研究活動を行う学生に研究奨励支援をする。

II 公益目的事業 2 (大学と共同研究する企業等、産学官交流事業等への助成)

1 共同研究の実施に対する助成 (7,000 千円)

企業等が大学と行う共同研究に対して、当該企業等の研究費の一部を助成する。

2 技術指導・相談の実施に対する助成 (300 千円)

大学の「技術サービス制度」を利用する企業等に対して経費の一部を助成する。

3 産学官交流事業の連携協力等 (9,000 千円)

(1) 産学官交流推進事業 (8,000 千円)

① 科学技術分野における大学と企業及び研究機関等の産学官の一層の連携・強化を推進する。(Matching HUB Hokuriku 2026 の開催) (5,000 千円)

② 第24回産学連携学会金沢大会の開催 (2,000 千円)

産学連携学の体系的な確立と産学官金連携のさらなる発展を通じて学術および技術の振興を図り、豊かで個性と活力に富んだ社会の構築に資することを目的に6月の2日間、今回、初めて石川県で開催する大会経費の一部を助成する。

③ 能登復興支援(Matching HUB Noto の開催) (1,000 千円)

能登地域の復興と地域の活性化を図るため、新たに七尾市を会場に開催するMatching HUB Noto の経費の一部を助成する。

(2) 産学官連携・交流活動の開催 (750 千円)

地域社会との交流の促進を図り大学への理解促進と魅力発信につなげることを目的とした J A I S T フェスティバルへの助成を行う。

(3) 機関誌「ADVANCED」の発行 (250 千円)

大学の教育研究活動や産学連携事業等の概要、支援財団が行っている事業活動内容を掲載した機関紙を発行し、企業をはじめ広く関係機関に情報提供する。(年 1 回)

Ⅲ 公益目的事業 3 (学生に対する奨学資金助成事業)

1 奨学資金助成 (3,840 千円)

優秀な学生の確保や北陸地区への科学技術者の定着を目的として、優秀な学生(特別枠)及び北陸3県に就職を希望する学生(一般枠)に奨学資金を助成する。

- ・新規採択分 : 特別枠 2 名、一般枠 2 名
- ・継続分 : 特別枠 2 名、一般枠 2 名 (計 8 名)